

キャラクター名
須坂 勇二&帽子さん

プレイヤー名

シンドローム	サラマンダー		ワークス	奇術師	カヴァー	大道芸人
	サラマンダー					
オプション			年齢	勇二:31 帽子さん:?	性別	どちらも男性
覚醒	感染	衝動	飢餓	初期侵食率	28 %	
出自	天涯孤独	経験	被害者	邂逅	腐れ縁	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	38
肉体	4	0	2	2		8	行動値	6
感覚	0	1	1			2	(非装備時)	6
精神	2	0	0			2	戦闘移動	11
社会	2	0	0			2	全力移動	22

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	11		射撃			RC			交渉		
回避	4		知覚	1		意志			調達		
運転:			芸術:大道芸	2		知識:女の子情報	2		情報:噂話	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
素手	白兵	8r+11				
必殺演目	白兵	14r+9	6	+7		装甲無視 @8 コスト14
	白兵	19r+9	6	+8		100% @7

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
思い出の一品	
コネ:手配師	
ウェポンケース	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
帽子さん	P 信頼	N 嫌気		
後日にま	P 好奇心	N 恐怖		
ベルトさん	P 同情	N 憎悪		
すてら	P 連帯感	N 不安		
ローニン	P 連帯感	N 嫉妬		
	P 庇護	N 悔悟		
	P 同情	N 憎悪		

最大財産P: 4 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
コンセントレイト:サラマンダー	2	2						
効果:								
氷の回廊	1	2	マイナー	至近	自身	自動		
効果: 飛行状態で戦闘移動。移動距離+[Lv*2]								
氷炎の剣	1	3	マイナー	至近	自身	自動		
効果: 武器を作る(白兵 命中-2 攻撃力Lv+6 G6)								
結合粉碎	2	4	メジャー			対決	ピュア	
効果: 組み合わせた判定ダイス+Lv個。装甲無視								
炎神の怒り	3	3	メジャー・リア	-	-	-		
効果: 判定ダイスLV+1 HP-3								
不燃体	★							帽子さん
効果: 燃えない								
熱感知知覚	★							帽子さん
効果: 残熱などを知覚できる<知覚>判定								
氷の理	★							勇二
効果: ものを冷やせる								
凍結保存	★							勇二
効果: 凍結し老化や腐敗を停止させる								
炎の理	★							帽子さん
効果: 炎を作り出せる<RC>判定								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

「オレ様の名はポーシェット・カプルハット3世!物覚えが悪い奴は、敬意を込めて「帽子さん」と呼んでもいいぜ!」
須坂勇二が喋る帽子と出会ったのは、寒くて寂しい夜だった。

金が無かった、重荷だった、そもそも最初から育てる気がなかった。
色々理由はあるのだろうが、とにかく彼は捨て子であり、小さなサーカスの一団に拾われた。「サーカス」を振って姓は「須坂」。「勇二」は団長の好きだった役者からとったとか何とか。
そしてライオン頭の人間や、手足の生えた魚なんかに囲まれてすくすくと育った勇二少年はある晩、サーカス小屋の屋根裏部屋でそいつと出会った。

帽子さん。そう名乗ったシルクハットは腹が減って死にそうだと嘆いていた。そいつの話では、主食は人間の思い出、記憶であり、人の頭に乗っかって思い出を食べ続けると死んでしまうのだそうだ。ならばと勇二少年は帽子さんを被るうとするが、ガキの思い出なんぞ食べたもんじゃねえと拒否。ムカついた少年は、毎日自身の思い出を無理やりにでも話して聞かせた。

綱渡りの練習を1人でやってこっぴどく怒られた話を聞かせていたある日、サーカス団は突如謎の集団に襲われた。テントは壊され、サーカスの芸人達は次々と拉致されていった。やがて屋根裏部屋にもその手が伸びようとした時、帽子さんが叫ぶ。

「コウジ!!オレ様を被れ!!!」

サーカス小屋から、爆炎が舞い上がった。

ここまでがオリジンです
ここから20年近く経って、須坂勇二くんはだいたいいい年になってます